

『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協、ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。

第4回にしよどがわ「地域診断」開催！

今回のテーマは「地域の健康を守るために、医療、介護、福祉の支援のしくみを考えよう～困ったときに頼れるところがありますか」でした。2025年2月22日（土）のぞと診療所3階会議室に、行政、民生委員、消防署、地域包括支援センター、千船病院、介護事業、健康友の会、職員など72人の方が集いました。



～地域の健康を守るために、医療・介護・福祉のしくみを考えよう～

報告では、

- ①西淀病院が23年～24年に経験した経済的事由で手遅れとなった死亡事例を3例。
- ②西淀川区データ（外国人住民、国保、生活保護、介護保険、健診受診率、65歳以上の単身帯数）の提示。
- ③消防署から救急搬送の実態報告
- ④区役所から、生活自立相談・就労支援窓口と総合的な相談支援体制の充実事業（つながる場）の紹介。



～困ったときに頼れるところがありますか～

その後、8つのグループに分けて、西淀川区の課題を出し合い、その中からテーマを1つに絞り、その解決策について話し合いました。共通しているのは、どの世代も「社会的孤立」を生まないこと、そのために「つながる場」を提供しようということです。

- 外国人住民がよく集まるスーパー前で「何でも相談会」開こう
- 区内を走らせている各病院のバスをつないで、区内の要所を回る循環バスができないか
- 区内の福祉・医療・介護の相談機関連携シート（通称：にじいろシート）に医療や外国人住民を入れてのバージョンアップなど、様々な解決策が出されました。

この中から、ひとつでも前進できればと考えています。
(まちづくり・健康増進部 前田元也)



3/27(木)午後2時～

オンライン運動教室 毎月第四木曜日開催



「何のための、誰のための、誰と一緒に、 誰が参加する活動にするか！」

ウェルビーイング (well-being)

みなさんウェルビーイング (well-being) という言葉をご存じでしょうか？ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味します。この概念は、単に病気や障害がない状態を超えて、個人や社会が持つ満足感や幸福感を含んでいます。同様の意味を持つ語に「幸福 (happiness)」がありますが、幸福は一時的な感情を指すのに対して、ウェルビーイングは持続的な「良い状態」を表します。

西淀川区でも11回開催

この考えを取り入れて西淀川区役所でもウェルビーイング西淀川というものが開催されています。西淀川区における地域社会の課題を解決し、区民の満足度の向上を目指すプロジェクトで、企業や団体、住民が協力しあうことで、地域の幸福や健康、環境の改善を図ることを目的としています。



実はこの活動に西淀病院も参加しており一昨年7月にはリハ科から「緑陰道路でノルディックウォーキングを流行らせたい」というテーマでプレゼンをし、その後普及活動としてリハスタッフで放課後ノルディック部を立ち上げ、不定期ですが昼休みの時間で緑陰道路を疾走しています。また昨年3月区役所で開催された健康で防災イベントにも出展しノルディックウォーキングの体験会も行いました。

一昨年はプロジェクトリーダーに賛同する企業が協力してプロジェクトを進める形式でしたが、今年度はワールドカフェ形式で行うなど試行錯誤しながら開催されています。

みなさんもウェルビーイングを合言葉に健康で幸せを感じられる魅力的な西淀川区を作る活動に参加してみませんか？

(西淀病院リハビリテーション科 阪中喜孝)

毎月22日はスワンスワンの日

13:00～13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

※参加人数と拾った吸い殻の数を
ファックスにてお知らせください！

発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)



日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services



HPH2024年度アンケート